

全国協議会 ニュース

2015年6月1日発行 第276号

発行所：特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会
〒101-0031 東京都千代田区東神田 1-3-4KT ビル 3階
TEL：03-5823-6360 FAX：03-5823-6365
発行責任者：野村正満 題字：仲田順和 (会長)
http://www.marow.or.jp E-Mail:office@marow.or.jp

設立25周年記念事業

キャラバンカー 全国走破へ

王さん・井原さんも歓迎、京都で植樹

「日本縦断キャラバン」は既報のとおり、4月24日(金)に沖縄県庁で翁長雄志知事の出席のもとで「出発式」を終え、キャラバンカーはフェリーに乗って27日に鹿児島新港に到着しました。ここからは九州、四国、本州を陸路だけで青森県までたどることができます。今号では、鹿児島県から京都府までの「キャラバン特集」とします。=関連記事2～4面に

この間に通過したのは沖縄を除き18府県で、全体の3分の1強です。

話題を集めたのは、福岡県でしょう。福岡ソフトバンクホークスの王貞治会長とJ2アビスパ福岡の井原正巳監督が、時間をおいてではありますがキャラバンカーを歓迎してくれたからです。王会長は、日本骨髄バンクが前身の骨髄移植推進財団として発足したばかりのころ、初の顧問に就任し、これも財団初のポスターに「かっとなせ！ 愛のホームラン」との文字と共に登場しました。井原監督は2005年に公共広告機構(現ACジャパン)のCMに「メンバーが足りない」という名コピーでドナー登録を訴えました。

奇しくも同じ福岡で活躍されているお二人でしたが、幸いなことにキャラバンカーが訪れる5月6日が、野球もサッカーもホームゲームの日とあって、ビッグイベントが実現したので。お二人とも気軽にサインに応じてくださいましたが、キャラバンカーのポディー右側には王会長の「目指せ！ドナー百万人!!」、左側に井原監督の「メンバーを増やそう！」の黒文字がくっきり見えます。

ゆるキャラが迎えてくれたのは熊本、愛媛、徳島県です。熊本では今やメジャーともいえるくまモンの登場ですが、単なるゆるキャラと侮れません。しあわせ部長兼営業部長代理として県知事の代わりに協議会からのアピール



王会長を囲んで野村理事長(左)と福岡赤十字血液センターの佐川公嬌所長



ボランティアと記念写真に収まる井原監督

文を受け取ってくれたのです。愛媛はミカンの産地らしく、その名も犬の「みきゃん」ですが、これでも県の広報広聴課員です。大きなぬいぐるみと小さなマスコットとがプレゼントされました。徳島県でもゆるキャラの「すだちくん」が歓迎してくれました。

公人ドナーもドライバーとして活躍です。山口では江島潔参議院議員が下関市から宇部市までキャラバンカーを運転しました。江島議員は下関市長だった1996年にドナーとなりましたが、折から外交問題を抱えている最中で採取のスケジュール調整に難渋し、極秘での入院中は「江島市長が雲隠れ」などと書き飛ばすメディアもあったそ

うです。高知では、泥谷光信土佐清水市長が同市から高知市までドライバーとなりました。同市職員だった2000年に提供しましたが、この度のキャラバンに当たって感想を寄せていただきました=次号に掲載予定。

京都府のイベントは5月20日(水)でした。ハイライトは、仲田順和会長が座主を務める醍醐寺での記念植樹です。キャラバンカーが国宝の五重塔近くに駐車し、その横で樹齢3年ほどの桜の若木を仲田会長が導師となつての法要で進められました。もともと太閤秀吉の「醍醐の花見」で有名な醍醐寺ですが、仲田会長がさい帯血移植をヒントにして秀吉にゆかりの枝垂れ桜の遺伝子を受け継いだクローンが植えられたのです。説明板に「いのちをつなごう」と墨痕鮮やかに書かれています。やがて「いのちをつなぐ桜」として語り継がれることになりそうです。



五重塔の前で行われたクローン枝垂れ桜の記念植樹

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

骨髄バンク NOW

〈財団マンスリーJMDP(4月15日発行)より抜粋〉

■日本骨髄バンクの現状(2015年4月末現在)

	3月	4月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,150	2,099	451,085	637,174
患者登録者数	250	295	2,866	44,770
移植例数	105	97	—	18,160

■4月の区別ドナー登録者数

献血ルーム/481人、献血併行型集団登録会/1,564人、集団登録会/6人、その他/48人

注)数値は速報値のため訂正されることがあります。

■4月の年齢別ドナー登録者数(現在数)

10代 2,320人/20代 70,968人/30代 144,977人/40代 183,609人/50代 49,211人

■4月の20歳未満の登録者305人

■4月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数:103件

18 府県訪問(鹿児島 4.27 →京都 5.20)

鹿児島 沖縄からフェリー航送されたキャラバンカーは4月27日鹿児島に到着。鹿児島県庁で本土縦断に向けての出発式を行いました。キャラバンカーを前に当代表の向原祥隆がアピール文を読み上げ、担当課長に手渡したあと、沖縄からの風をいっぱいを受けて、全国へ旅立つという演出で、その模様はテレビニュースで放映されました。

血液センター・鹿児島市役所での要請や、繁華街・天文館での街頭キャンペーンを終えました。(かごしま骨髄バンク推進連絡会議・大田耕一郎)



宮崎 鹿児島からキャラバンカーの鍵を引き継ぎ、まずは昨年4月にドナー助成制度を導入した都市役所を表敬訪問し、感謝の気持ちを伝えました。翌日は河野俊嗣宮崎県知事を表敬訪問しました。宮崎県では庁舎での骨髄ドナー登録会・保健所主催の休日登録会を開催していただき、昨年は職員24人に登録いただきました。その後キャラバンカーは血液センターへ。



大分 5月2日に大分に到着しました!! わったんことトキワわさだタウンに向かい、わったん献血ルームの皆様を迎えられ、辻理事がアピール文を渡したあと啓発活動をしました。ルームには骨髄バンクコーナーも設けてありました。今回、25周年記念「日本縦断キャラバン」に参加で

き、感謝の気持ちでいっぱいです。



熊本 5月3日、キャラバンカーは熊本を訪れました。

数年前までドナー登録者の割合が全国ワースト2位を記録し続けていた熊本ですが、県などの尽力により今年3月末には全国22位まで上昇しました。「日本縦断キャラバン」では、ワースト2位脱却に貢献した県に対しても表敬訪問を行い、県知事代理としてしあわせ部長兼営業部長代理のくまモンが全国協議会からのアピール文を受け取りました。その後、下通アーケード(熊本市)でドナー登録への協力を呼びかけ、この日はイオンモール熊本(嘉島町)で献血併行型骨髄バンクドナー登録会も実施し、8件の登録がありました。(熊本県赤十字血液センター・柳瀬美耶)



長崎 5月4日、熊本から引き継ぎ、キャラバンカーは長崎に到着しました。

早朝の霧の中を走行し、献血ルームへ。献血ルーム西海と献血ルーム浜の町を訪れるころには快晴となりました。献血ルームでは温かく迎えていた



だけ、アピール文をお渡ししました。

佐賀 5月5日のこどもの日、キャラバンカーは佐賀県にやってきました。有名な有田の陶器市を訪れてドナー登録会を行い、集まっていた子どもたちにもチラシを受け取ってもらいました。



福岡 福岡県では、5月6日と7日に県内5カ所の献血ルームとアビスパ福岡の本拠地のレベルファイブスタジアムを訪問しました。献血ルーム各所に「歓迎 全国骨髄バンク推進連絡協議会 日本縦断キャラバン隊」と書かれた大きな横断幕を貼ってくださり、職員が笑顔で私たちを迎えてくれました。

昨年12月に開所したばかりの献血ルーム「くろさきクローバー」では4月29日～5月7日、パネル展「いのちの輝き展」を開催し骨髄バンクについてのPRを行いました。

山口 5月7日、キャラバンカーは下関市役所に到着、副市長をはじめ約30人の職員、地元下関で骨髄バンクの活動支援をしてくれている早鞆学園高等学校のSクラブ約20人及び骨髄バンクを支援する山口の会のメンバーの熱烈な出迎えを受けました。

翌日は、宇部市役所に向かいました。市役所では久保田市長から「4月から県内市町では初めてドナー助成制度を開始しておりしっかり取り組んでいきたい」と感謝の意を表明されました。続いて山口市の日赤血液センターを訪問しました。(骨髄バンクを支援する山口の会・田中雄一郎)



島根

島根県では、キャラバンカーを山口から引き継ぎ広島に引き渡す間に5カ所を駆け足で回りました。

まず、全国的にもいち早くドナー助成制度を取り入れられた益田市長・浜田市長に直接メッセージを渡し、認定病院では県立中央病院・島根大学附属病院・松江赤十字病院の病院長や移植担当医師を骨髓ボランティアさんとともに訪れ熱烈歓迎を受けました。中には、点滴をしながら出迎えてくださった患者さんもおられ、今後も登録者の増加に繋げていく活力と勇気と感動をもらいました。(山下一幸)



広島

5月10日、患者家族の運転で広島市内を骨髓バンクをアピールしながら走りました。一方、広島の献血ルーム「ピース」では、28歳のドナー経験者が血液センター所長山本昌弘氏にアピール文を手渡すセレモニーを行いました。バンク登録者は17人でした。

セレモニーや「ピース」での登録会は広島で初めてのことであり、その様子は各テレビ局で放映されました。

所長さんの「一緒に頑張りましょう」との言葉は大変心強く感じられました。すでにドナー登録をしてくださっている広島国際大学のボランティアの学生さんたちをはじめ、県行政・血液センター職員・多くの方たちのご協力をいただきました。(広島つばさの会・土居優子)



愛媛

キャラバンカーは広島の尾道からしまなみ海道を抜けて、5月10日夜に四国に入り愛媛県

松山市に到着。翌朝、ドーム状の屋根で有名な歴史的建造物の県庁舎前の広場に来ると、県や血液センターの職員に加え愛媛のマスコット「みきゃん」に拍手で迎えられ歓迎式が行われました。



高知

松山から四国を南下し夕刻には高知県土佐清水市役所へ、ここでも拍手で迎えられました。

翌12日は朝から泥谷光信土佐清水市長(ドナー)の運転で高知県庁に向かい、県庁でも大歓迎を受けました。この日は朝から激しい雨、高知県の南を通る台風6号の影響ですが、無事に四国山地を抜けて夕方には徳島に着くことができました。



徳島

徳島では「ありがとうサクラ」植樹場所から出発し、血液センター玄関口では職員さんをはじめ多くの報道陣が見守る中、アピール文を読み上げました。その後、献血ルームに立ち寄り、駅前で徳島のゆるキャラ「すだちくん」とチラシ配布、県庁への訪問後、次の香川県へとキャラバンカーを走らせました。徳島では献血バスや献血ルームでの併行型登録会をようやく本格的に始めたばかり。



この訪問を機会に日赤や県の取り組みが促進されることを期待しています。(とくしま骨髓バンクを支援する会・池田良一)

香川

5月14日、早朝の高松駅でキャラバンカーに初対面。すでに、車体にはメッセージがところ狭しと貼られています。県庁、日赤、県立病院への表敬訪問を終え、善通寺養護学校へ。聞くところによりますと、キャラバンカー訪問先での講演は、他地区には計画されていないとのことでした。

全教職員の皆さまに講演をご清聴いただき、キャラバンカーに乗車して下さっていた3人のドナーさん、患者さんの奥様の4人にもご登壇いただきました。ドナーさんの体験談は、多くの方々に「骨髓提供が痛そう、怖そう……」というハードルを、ひょいと跳び越えていただくきっかけになる、とつくづく感じました。ありがたかったです。(顧問・大谷貴子)



岡山

最初の訪問先は県庁でした。骨髓ドナー休業補償制度の陳情書提出に際して、勉強会を開いてご協力くださった県会議員さんたちが集まってくださいました。続いて岡山大学病院、岡山市役所です。岡山市は昨年12月、骨髓ドナー休業補償制度創設陳情書を市議会全会一致で採択してくださいました。次に訪れた倉敷市役所では、前向きに検討することと、取り組みへの協力を約束していただきました。最後に赤十字血液センターを訪問し、心温まるお出迎えをいただきました。



鳥取 5月17日良いお天気のもと、鳥取市の血液センターにて、アピール文をお渡ししました。

地元の日本海新聞社の記者さんも取材に来られていて、マスコミにも骨髓バンクとさい帯血バンクの大切さを知っていただけたと思います。

血液センターの職員さんもステッカーにメッセージを書いて、早速キャラバンカーに貼っておられました。

次は、兵庫県です。ご成功をお祈り



しております！（加登脇由紀子）

兵庫 姫路は鳥取より引き継ぎ5月18日に姫路駅を出発しました。

当日は、お城の女王も初仕事と言われキャラバンカーに乗っていただきました。運転されたのは、中野義樹さん、この方はお兄さんを白血病で亡くされましたが、ご自分は他の方のドナーになられ永年当センターにご協力いただいております。姫路は血液センター、

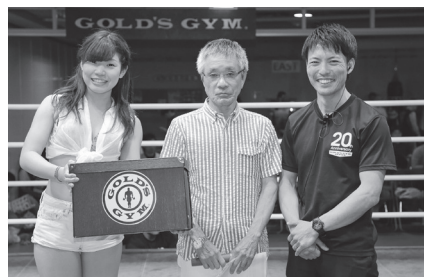


姫路城、姫路駅前、姫路市役所さらに加古川市役所と5カ所を回り神戸へとつなぎました。本当に多くの方々にご協力いただき、私たちの活動は成り立っているのだと感謝の一日でした。（濱田恵子）

京都 5月20日、醍醐寺五重塔前で全国協議会25周年を記念して「桜の植樹」を行いました。法螺貝の音と読経が境内に響く法要後、仲田会長、野村理事長、京都骨髓ドナーを募る会など出席者全員で植樹しました。

醍醐寺を後にしたキャラバンカーは、YIC 工科専門学校、HLA 研究所、京都府赤十字血液センター、洛和会音羽病院を訪問し、大阪へと向かいました。

ゴールドジムの格闘技発表会で募金贈呈は試合の一場面みたい



「骨髓バンク・東日本大震災チャリティイベント 格闘技スクール発表会2015」((株)THINK フィットネスゴールドジム事業部)が5月17日(日)、ゴールドジムサウス東京アネックス(東京都大田区大森駅前)で開催されました。

関東のゴールドジム各店舗から多くの団体が参加し、会場の中心にある白いマットのリング上では、ボクシング、グラップリング・ファイトなどの試合が繰り広げられました。また、空手、テコンドーなどの演武も披露されました。会場内は気合が入り、緊張感の漂う独特の雰囲気包まれていました。

発表会中盤の各店舗から集まった募金の贈呈式では、全国協議会の村上忠雄副理事長が実行委員長の新城南平さんからリング上で受け取りました。カメラのフラッシュが焚かれてまるで試合の一場面のような様子でした。

肉フェスでドナー登録説明会 楽しい募金の「おもちゃ釣り」

全国協議会として、初めて「肉フェス」(4月24日～5月6日：東京都世田谷・駒沢オリンピック公園)に参加し、ドナー登録説明会とおもちゃ釣り募金=写真=を行いました。「肉フェス」とは、評判の肉料理屋が一堂に集まり、それぞれのブースで料理を購入できる屋外イベントです。

期間中は大勢の方がブースに立ち寄り、大変に賑やかなイベントとなりました。おもちゃ釣り募金はお子さまだけでなく、お孫さん用にと年配の方が釣りをしてくださったり、若者グループやカップルが揃いでお面を釣ったりと、楽しげな募金活動となりました。



大型連休を含め、事務局からは毎日少なくとも1人が「肉フェス」出勤をしましたが、近隣加盟団体の皆さまからも、多くのお手伝いをいただきました。

また、開催企業であるAATJ株式会社(杉崎健二社長)へ後日御礼を申し上げたところ、今後とも末永くお付き合いくださいとの言葉をいただきました。秋にも東京で、そして今後は全国でも「肉フェス」は開催されます。次の機会には準備万端で臨みたいですね。

心からのご寄付に感謝申し上げます ●4月21日～5月20日(敬称略)

ゴールドジム御殿場	現金	11,003円	匿名	現金	5,000円	東暉印房	現金	8,107円
城戸 孝敏	現金	2,000円	匿名	現金	5,000円	コットンキャップの会	現金	20,000円
棚橋 保夫	現金	10,000円	●白血病患者支援基金			瀬下 麻美子・飯塚雄の祭り	現金	126,588円
NPO 法人我は海の子現金	1,000円	NPO 法人血液疾患患者家族の会	「ひこぼえ」北山 瑛子			NPO 法人サカエ会懇親会	現金	22,337円
テニスサークル ライナーズ	現金	10,000円	中山 雅雄	現金	2,000円	福原 卓也	現金	6,000円
塩谷 泰人	現金	1,000円	匿名	現金	100,000円	匿名	現金	15,000円
スエヨシ マサノリ	現金	10,000円	●佐藤さち子患者支援基金			●こうのとりのりん基金		
村上 忠雄	現金	100,000円	公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構	現金	12,061円	中川 菜々子	現金	10,000円
匿名	現金	2,000円						

活動資金の援助をお願いします 銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店 郵便振替口座 00150-4-15754
普通 5666655

口座名：特定非営利活動法人 全国骨髓バンク推進連絡協議会